

# 令和7年度 第69回 農業実験実習講習会案内

主 催	公益財団法人全国学校農場協会	宿 泊 所	各会場の担当事務局長が斡旋する。（別紙受講者心得を参照）
後 援	文部科学省	申 込 手 続	希望する地区の担当事務局長に期限までに申し込みの上、詳細は受講者心得でも確認すること。
協 賛	全国農業協同組合中央会 全国農業高等学校長協会	申 込 期 日	各会場とも、4月1日（火）～6月2日（月）
目 的	この講習会は、高等学校農業教育教職員の科学的農業技術の向上を図るために行う実験・実習の講習会である。（講義の講習会ではない）	修 了 証	受講者には本会の修了証を授与する。
受講資格	高等学校（農業科教諭、農業科実習教諭、農業科実習助手、家庭科教諭、理科教諭）、中学校（技術家庭科教諭、理科教諭）、栄養教諭	単 位 認 定	大学を会場として行う場合、大学当局が文部科学省と交渉し、免許法認定講習として「農業の関係科目」1単位が認定される。（令和7年度は、山形大学農学部で実施予定）
定 員	各会場とも30名	準 備	受講者は、実験・実習用具および服装と、筆記用具等持参のこと。
受講料	無料。ただし印刷物等の資料費・実験材料費等を若干要することがある。	注 意	本講習会受講者は、全日程の受講（今年度は5日間または3日間）を原則とする。

	科 目	会 場	期 日	実 施 項 目	講 師	事 務 局
北海道	「農業経営」	国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学 〒080-8555 北海道帯広市稲田町西 2線11番地 TEL 0155-49-5235 FAX 0155-49-5229	8月4日（月）～8月8日（金） 5日間  開講式 13時00分 閉講式 12時00分	1. 「農業経営」の授業改善と農業経営者の育成のポイント 2. 農業経営における労務管理と求められる指導法 3. 社会情勢の変化に対応する農業経営者に求められる能力 4. 農業のITツールを活用した経営の見える化 5. 生産物の品質保証を考える 6. 農業経営において求められる人材像を探る 7. ケーススタディから学ぶ農業の経営戦略 8. これから求められる農業経営者像 9. これからの農業経営者に求められる知識・技術を考える ～指導計画の検討～ 10. これからの農業経営者の育成について考える～教材開発～ 11. 農業経営者の育成において求められる高校教員の指導力を考える ～教育力向上プログラムの検討～	(1)帯広畜産大学 准教授 窪田 さと子 (2)YUIME株式会社 取締役 江城 嘉一 (3)帯広畜産大学 准教授 三宅 俊輔 (4)株式会社クボタ (未定) (案) (5)前田農産食品株式会社 代表取締役 前田 茂雄 (6)ダイヤモンド十勝株式会社 代表取締役 大野 和則 (7)なまら十勝野 代 表 小山 勉 (8)株式会社北海道博報堂 クリエイティブディレクター 長岡 晋一郎 (9)東京農業大学 准教授 小川 繁幸	北海道帯広農業高等学校 〒080-0834 北海道帯広市稲田町西1線9番地 TEL 0155-48-3051 FAX 0155-48-3052  事務局長 教頭 安彦 勇二
東北	「農業と環境」 ※免許法認定講習 1単位認定科目 (予定)	国立大学法人山形大学農学部 〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23 TEL 0235-28-2809 FAX 0235-28-2814	8月4日（月）～8月6日（水） 3日間  開講式 8時45分 閉講式 17時00分	1. 水稻の出穂期をどう定めるか、なぜ必要か 講義 水稻出穂期の同定 実習 水田で出穂状況を確認 2. 植物の伝染病と管理 講義 植物の病原体と病気の発生 実習 植物伝染性病害の簡易診断 3. 家畜の行動と人工知能による行動解析 講義 家畜の行動と管理 実習 人工知能を用いた画像認識による家畜の行動解析	山形大学農学部 <b>教授</b> 長谷 修 <b>教授</b> 堀口 健一 <b>准教授</b> 角田 憲一 <b>助 教</b> 今野 真輔	山形県立村山産業高等学校 〒995-0011 山形県村山市楯岡北町1-3-1 TEL 0237-55-2537 FAX 0237-55-5134  E-mail ssuzukishiz@yamagataps.jp 事務局長 教諭 鈴木 静香
関東	「農業と環境」	高崎健康福祉大学 農学部 〒370-0033 群馬県高崎市中大類54 TEL 027-388-8390 FAX 027-388-8393	8月4日（月）～8月8日（金） 5日間  開講式 13時30分 閉講式 11時30分	1. 水稻の種子選別と播種に関する講義・実験 2. 水稻の種子品質と発芽に関する講義・実験 3. 光合成の基礎に関する講義 4. クロロフィル濃度の測定・光合成の簡易計測の実験 5. ドローン関連の法令・飛行ルールに関する講義 6. ドローンシミュレーターの実習 7. 群馬県内先進事例視察研修	高崎健康福祉大学農学部生物生産学科 農業情報システム学研究室 <b>教授</b> 大政 謙次 <b>教授</b> 清水 庸 <b>講師</b> 大野 英一 園芸学研究室 <b>准教授</b> 石神 靖弘 作物学研究室 <b>准教授</b> 岡部 繭子 <b>講師</b> 橋田 庸一 地域連携室 <b>教授</b> 倉澤 政則	群馬県立勢多農林高等学校 〒371-0017 群馬県前橋市日吉町二丁目25番地1 TEL 027-231-2403 FAX 027-233-1291  E-mail setano-hs@edu-g.gsn.ed.jp 事務局長 山口 愉隆
近東	「農業と環境」	近畿大学 農学部 〒631-8505 奈良県奈良市中町3327- 204 TEL(0742)43-1849 FAX(0742)43-1155	8月4日（月）～8月8日（金） 5日間  開講式 13時00分 閉講式 11時00分	1. PCRによるウイルス感染診断 2. 環境調査 - 魚類病原微生物を例として - 3. 環境と生物多様性 4. 微生物と健康の関わり 「食品微生物の顕微鏡観察」 5. 栄養成分の定性・定量分析 6. 微生物を用いた農業残渣からの有用物質生産 「土壌微生物の観察と単離方法」 7. 遺伝子改変技術の変遷と分子メカニズム 「遺伝情報媒体：ゲノム染色体の観察」	1 <b>教授</b> 神崎 真哉 <b>准教授</b> 小枝 壮太 2 <b>講師</b> 永田 恵里奈 3 <b>講師</b> 谷口 亮人 4 <b>教授</b> 上垣 浩一、倉田 淳志 5 <b>教授</b> 竹森 久美子、近藤 高史 6 <b>教授</b> 城島 透 7 <b>教授</b> 篠原 美紀	奈良県立御所実業高等学校 〒639-2247 奈良県御所市玉手300番地 TEL 0745-62-2085 FAX 0745-62-6652  E-Mail junyas570@e-net.nara.jp 事務局長 真井 順也
中国	「農業と環境」	国立大学法人 岡山大学 農学部 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 1-1-1 TEL 086-251-8318 FAX 086-251-8388	8月4日（月）～8月8日（金） 5日間  開講式 13時00分 閉講式 12時00分	1. 花卉園芸と環境 2. 野菜園芸と環境 3. 果樹園芸と環境 4. 作物と環境 5. 雑草学と環境	国立大学法人 岡山大学大学院環境生命科学研究科（農学部） <b>教授</b> 後藤 丹十郎、安場 健一郎、 福田 文夫、平井 儀彦 <b>准教授</b> 平野 健、河井 崇、田中 佑、 中嶋 佳貴 <b>助 教</b> 元木 航、富田 朝美	岡山県立高松農業高等学校 〒701-1334 岡山県岡山市北区高松原古才336-2 TEL 086-287-3711 FAX 086-287-3713  事務局長 平田 真人
九州	「農業と環境」 「栽培と環境」	国立大学法人 琉球大学 農学部 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千 原1番地 TEL 098-895-8733 FAX 098-895-8734	8月27日（水）～ 8月29日（金） 3日間  開講式 13時00分 閉講式 11時30分	講習テーマ：沖縄の土壌について (1) 土壌の解説（講義） 沖縄の土壌を理解するために、土壌学の基礎となる情報を伝え、沖縄の土壌の特殊性を理解できる。主に土壌の化学性および物理性について解説し、実習を行う上での視点を明確にするために講義を行う。 (2) 沖縄の土壌の化学性および物理性調査（実習） 植物生育には、土壌化学性と物理性が大きく影響することが明らかで、その土壌の状況を確認するために土壌断面を観察し、地下の状況を理解する。さらに、植物生育には土壌の硬さも大きく影響するため、それについても実際に測定器を用いて測定する。 (3) まとめ（演習） 実習で得たデータをまとめて、そのデータから、実習地の土壌の解析・回折を行う。（データのやり取りをteamsで行う予定。可能であれば、事前にteamsのアプリをダウンロードして準備してください） *実習は天気によって左右されるため、当日の天気で実施項目の変更あり。	国立大学法人 琉球大学 農学部 土壌学研究室 <b>准教授</b> 金城 和俊	沖縄県立北部農林高等学校 〒905-0006 沖縄県名護市宇茂佐13番地 TEL 0980-52-2634 FAX 0980-54-1664  事務局長 屋嘉 比仁

